

第7回評価委員会 資料8 (平成22年2月3日)	第8回評価委員会 資料4 (平成22年3月10日)
<p>1 評価の具体的方法</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 略</p> <p>項目別評価...法人による小項目自己評価</p> <p>法人において、年度計画の小項目ごとの進捗について実施状況を記載するとともに次の5段階で自己評価を行ったうえで、業務実績報告書を作成する。なお、法人は、各項目の重要性を勘案してウエイトを設定するとともにその理由を付記することとする。</p> <p>なお、業務実績報告書には、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑にするための工夫、今後の課題などを自由に記載する。</p> <p style="text-align: right;">以下 略</p> <p>項目別評価...評価委員会による小項目評価</p> <p>略</p> <p>その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。</p> <p>項目別評価...評価委員会による大項目評価</p> <p>小項目評価の結果を踏まえて、年度計画に掲げる「第1～第4」の項目（大項目）ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、そのように判断した理由も記載する。</p> <p>S：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）</p> <p style="text-align: right;">以下 略</p>	<p>1 評価の具体的方法</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 略</p> <p>項目別評価...法人による小項目自己評価</p> <p>法人において、年度計画の小項目ごとの進捗について実施状況（判断理由）を記載するとともに次の5段階で自己評価を行ったうえで、<u>事業報告書</u>を作成する。法人は、各項目に市民病院としての役割や年度計画の重点項目を考慮してウエイトを設定するとともにその理由を付記することとする。</p> <p>なお、<u>事業報告書</u>には、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑にするための工夫、今後の課題などを自由に記載することとし、<u>自己評価は病院ごとの実績がわかるよう工夫し、病院の自己点検に基づき、法人としての自己評価を行うものとする。</u></p> <p style="text-align: right;">以下 略</p> <p>項目別評価...評価委員会による小項目評価</p> <p>略</p> <p>その他、<u>委員会の意見を踏まえ、必要に応じて、コメントを付す。</u></p> <p>項目別評価...評価委員会による大項目評価</p> <p>小項目評価の結果を踏まえて、年度計画に掲げる「第1～第4」の項目（大項目）ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、<u>考慮した事項及びそのように判断した理由も記載する。</u></p> <p>S：中期目標・中期計画の達成に向けて、<u>計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）</u></p> <p style="text-align: right;">以下 略</p>
<p>(3) 全体評価の具体的方法</p> <p>略</p> <p>全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取組(法人運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善など)を積極的に評価することとする。</p>	<p>(3) 全体評価の具体的方法</p> <p>略</p> <p>全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取組(法人運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善など)を積極的に評価することとする。</p> <p><u>その際全体評価にあたり、項目別の結果とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について記載することとする。</u></p> <p><u>また、評価の中で改善すべき事項については委員会の意見として報告書に記載するとともに、とくに重大な改善事項については勧告を行うこととする。</u></p>
<p>2 その他 (1) 法人において作成する業務実績報告書の様式は、別紙のとおりとする。</p>	<p>2 その他 (1) 法人において作成する<u>事業報告書</u>の様式は、別紙のとおりとする。</p>

地方独立行政法人神戸市民病院機構
平成 21 事業年度の業務実績に関する評価結果

平成 22 年 月

地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

全体評価にあたって考慮した内容

- ・主な取組
- ・特筆すべき取組
- ・その他

評価にあたっての意見、指摘等

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価

- ・市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 評価結果

評価判断理由

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項目	評価 項目数	ウエイ トを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 市民病院としての役割の発揮	4						
2 専門性の高い医療の充実	3						
3 市民・患者と共に支える地域医療	3						
4 地域医療機関との連携協力の推進	3						
5 安全管理を徹底した医療の提供	4						
6 医療の標準化と診療情報の分析による質の改善及び向上	4						
7 臨床研究及び治験の推進	1						
合計	22						

評価にあたっての意見、指摘等

(2) 小項目評価 別紙のとおり

(2)小項目評価

項目別の状況

第1 中期目標の期間 平成21年4月1日から平成26年3月31日

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 市民病院としての役割の発揮
救急医療

中期目標 本市の救急医療システムの下、初期救急医療から3次救急医療まで、市民病院の役割に応じて「断らない救急」に努めること。特に中央市民病院は、救命救急センターとして、365日24時間体制で重症・重篤な患者への対応を確保すること。

中期計画	年度計画	法人の自己評価			委員会の評価										
		実施状況(判断理由)	ウエイト	評価	評価	評価判断理由									
<p>・市民病院は、神戸市の救急医療システムの下、初期救急医療から3次救急医療まで、市民病院としての役割を果たすために、地域医療機関と密接な連携を図ることにより、それぞれの役割に応じて「断らない救急医療」に努める。</p> <p>・中央市民病院は、救命救急センターとしての役割を十分に果たすことが命題であり、より重症・重篤な患者に対して365日24時間体制の救急医療を提供することに主眼を置いた体制を常に確保する。</p> <p>・現在、平成22年度中の施設完成を目標に整備を進めている新中央市民病院においては、ICU(8床)、CCU(6床)を含む専用病床50床を有する救命救急センターに、手術可能な初療室やCT撮影室、屋上に設置したヘリコプターの場外離着陸場と手術部門に直結した緊急エレベーター等を整備するなど、救急医療体制の充実を図る。</p> <p>・西市民病院は、市街地西部の中核病院として、地域住民の安心・安全を守るため、医師不足の解消や勤務の負担軽減に取り組むことにより、救急医療体制の充実を目指す。</p> <p>関連指標(単位:人,平成19年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>救急外来患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央</td> <td>40,980</td> </tr> <tr> <td>うち入院 5,589</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入 6,184</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">西</td> <td>12,080</td> </tr> <tr> <td>うち入院 2,178</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入 1,118</td> </tr> </tbody> </table>	項目	救急外来患者数	中央	40,980	うち入院 5,589	うち救急車受入 6,184	西	12,080	うち入院 2,178	うち救急車受入 1,118	<p>・市民病院は、神戸市の救急医療システムの下、初期救急医療から3次救急医療まで、市民病院としての役割を果たすために、地域医療機関と密接な連携を図ることにより、それぞれの役割に応じて「断らない救急医療」に努めることで市民の安心・安全を守る。</p> <p>【中央市民病院】</p> <p>・引き続き、救命救急センターとして365日24時間体制の救急医療を提供し、市民病院としての役割を果たしていく。そのため、地域連携部門に病床管理専従看護師(ベッドコントローラー)を配置し、病床の一元管理により病床利用の効率化をさらに徹底するとともに、病床の稼働状況の的確な把握に努める。</p> <p>【西市民病院】</p> <p>・医師の確保及び負担軽減に努めるとともに、現在実施している毎日午前0時までの内科系・外科系での救急医療体制や金曜日及び土曜日の24時間救急医療を着実に継続する。</p> <p>・二次救急輪番病院と連携をとりながら、整形外科の救急当直を実施するとともに、外科系の救急当直の診療科目を二次救急輪番病院等へ周知することにより、救急患者の症状によりの的確に対応する。</p>				
項目	救急外来患者数														
中央	40,980														
	うち入院 5,589														
	うち救急車受入 6,184														
西	12,080														
	うち入院 2,178														
	うち救急車受入 1,118														

【ウエイト付の理由】